

◎一般教養科

主任 鴻上政明

1. 平成17年度運営目標・方針

学校の教育理念・教育目標の定着をはかる。

1. 1 理念・目標を各教科の授業に反映させる。
大体できた。

1. 2 各教科の授業を通して、人間形成に主眼をおいた教育を行う。

[1] 青年期の人間形成に必要な読書を勧める。

クラス担任を中心に読書を勧めたが、未だ十分な成果を出すまでには至っていないので、今後とも読書奨励を続けていきたい。

[2] 人間関係に必要な「言葉の使い方」の指導に力を入れる。

授業を通して「言葉の使い方」の指導には力を入れた。

2. 平成17年度実施計画

2. 1 教科ごとにグループを編成し、効果的な授業を進める。

[1] 教科ごとのグループを編成し、教科内容の検討、見直しを行うほか、意見の交換、授業参観などを通じて授業方法の改善に努める。

各教科ごとに教育改善計画を立て実施に努め、ほぼ計画通りにできた。

[2] 教科ごとに共同テーマを持ち、その実現に努める。

実現に努めたが、十分な成果を出すまでには至らなかった。

2. 2 英語力の向上をはかり、科としても支援する。

[1] 英語教育改善WG等で専門学科教員と英語科教員との連携を深め、学生の英語力の向上を目指す。

英語教育改善WGで英語学力試験の集計作業やTOEIC模擬試験の監督等で連携を深めて、学生の英語力の向上を目指した。

[2] 専攻科生のTOEIC400を達成させるために支援していく。

TOEIC IP や模擬試験の試験監督で協力した。

2. 3 基礎学力不足の学生への指導

[1] オフィスアワー等を利用して個別指導に力を入れる。

オフィスアワー等を利用して指導・助言をしたが、十分ではなかった。

2. 4 J A B E Eプログラムの質の向上に努める。

[1] 各学科・コースの学習目標等に各教科を対応させていく。

JABEEプログラムの質の向上のために各教科を対応させた。

2. 5 教員の研究活動の推進をはかる。

[1] 科学研究費の申請等を実現させていく。

平成17年度科研費の交付を受けた。

[2] 年1本以上の論文執筆を心がける。

論文執筆実現は十分ではなかった。

2. 6 地域との連携を検討する。

[1] 公開講座等に積極的に取り組む。

積極的に取り組めた。

[2] 年に一人以上は公開講座を担当する。

二人が公開講座を担当した。

[3] 地域に関連した研究に心がける。

明治期新居浜の儒学者、遠藤石山に関する学会発表1件。

愛媛の漢学史跡に関する依頼講演1件。

『伊予の陶淵明 近藤篤山』（共著）で愛媛出版文化賞受賞。

○ 総括的な評価と課題

基本方針である人間教育は概ねできた。、授業方法の改善においては、反省すべき点はあるが、ほぼ計画通りできた。オフィスアワーの活用が十分ではないので、学生への周知徹底を図りたい。科学研究費の採択が実現したが、申請件数を増やせるように努力したい。公開講座を二人が担当し、地域貢献には積極的に取り組めた。また、地域に関連した研究では、学会発表や依頼講演をした。『伊予の陶淵明 近藤篤山』（共著）で愛媛出版文化賞を受賞し、立派な成果を上げた。